

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【公表番号】特表2017-525860(P2017-525860A)  
 【公表日】平成29年9月7日(2017.9.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-034  
 【出願番号】特願2016-575178(P2016-575178)  
 【国際特許分類】

A 4 1 D 13/06 (2006.01)

A 6 1 F 5/02 (2006.01)

【F I】

A 4 1 D 13/06 1 0 5

A 6 1 F 5/02 N

【手続補正書】  
 【提出日】平成30年5月29日(2018.5.29)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

(a) 人の脚の膝の部分及びその隣接部分にぴったりと覆う関係に着用でき、着用されるとき外側面及び内側面を有するベースと、

(b) あらゆる方向に弾性である材料で形成され、第 1 の上引張ストラップ、第 2 の上引張ストラップ、第 1 の下引張ストラップ及び第 2 の下引張ストラップを有する有形引張部材とを含み、

有形引張部材は、ベースの内側面に恒久的に固定され、

ベースは、第 1 の上穴、第 2 の上穴、第 1 の下穴及び第 2 の下穴を含み、

第 1 の上引張ストラップは、第 1 の上穴を貫いて第 1 のストラップ端まで延び、第 2 の上引張ストラップは、第 2 の上穴を貫いて第 2 のストラップ端まで延び、第 1 の下引張ストラップは、第 1 の下穴を貫いて第 3 のストラップ端まで延び、第 2 の下引張ストラップは、第 2 の下穴を貫いて第 4 のストラップ端まで延び、

第 1 のストラップ端、第 2 のストラップ端、第 3 のストラップ端、及び第 4 のストラップ端は、膝装具が着用されるときベースの外側面に着脱自在に取り付けられ、

第 1 の上引張ストラップ、第 2 の上引張ストラップ、第 1 の下引張ストラップ及び第 2 の下引張ストラップの少なくとも 1 つに恒久的に固定された外部メッシュ層を更に含む、膝装具。

【請求項 2】

外部メッシュ層は、第 1 のストラップ端の近くで第 1 の上引張ストラップに、第 2 のストラップ端の近くで第 2 の上引張ストラップに、第 3 のストラップ端の近くで第 1 の下引張ストラップに、第 4 のストラップ端の近くで第 2 の下引張ストラップに恒久的に固定される、請求項 1 の膝装具。

【請求項 3】

(a) 人の脚の膝の部分及びその隣接部分にぴったりと覆う関係に着用でき、第 1 の上穴、第 2 の上穴、第 1 の下穴及び第 2 の下穴を含み、着用されるとき外側面及び内側面を有するベースと、

(b) ベースの内側面に恒久的に固定され、長い弾性材料で形成され、第 1 の上クロス

引張ストラップ及び第２の上クロス引張ストラップを含む、上クロスストラップと、

(c) ベースの内側面に恒久的に固定され、長い弾性材料で形成され、第１の下クロス引張ストラップ及び第２の下クロス引張ストラップを含む、下クロスストラップと、を含み、

第１の上クロス引張ストラップは、第１の上穴を貫いて第１のトラップ自由端まで延び、第２の上クロス引張ストラップは、第２の上穴を貫いて第２のストラップ端まで延び、第１の下クロス引張ストラップは、第１の下穴を貫いて第３のストラップ端まで延び、第２の下引張ストラップは、第２の下穴を貫いて第４のストラップ端まで延び、

第１のストラップ端、第２のストラップ端、第３のストラップ端、及び第４のストラップ端は、膝装具が着用されるときベースの外側面に着脱自在に取り付けられる、膝装具。

【請求項４】

第１の上クロス引張ストラップ、第２の上クロス引張ストラップ、第１の下クロス引張ストラップ及び第２の下クロス引張ストラップの少なくとも１つに恒久的に固定された外部メッシュ層を更に含む、請求項３の膝装具。

【請求項５】

外部メッシュ層は、第１のストラップ端の近くで第１の上引張ストラップに、第２のストラップ端の近くで第２の上引張ストラップに、第３のストラップ端の近くで第１の下引張ストラップに、第４のストラップ端の近くで第２の下引張ストラップに恒久的に固定される、請求項４の膝装具。